

〇〇水産 御中

**養殖業ビジネス評価書（例）  
（陸上養殖）**

2021年〇月〇日

# 目次

1. 背景と目的
2. 調査プロフィール
3. 総評（エグゼクティブサマリ）
4. 評価結果の一覧
5. 詳細評価結果
6. まとめ

# 1. 背景と目的

## [背景]

我が国周辺水域の水産資源の漁獲が不安定な中、魚食を好む日本人が安定して水産物を楽しむためにも、計画的で安定的に生産できる養殖に対する期待は高く、国の内外を問わない関心の高まりから養殖業を成長させる好機を迎えている。

こうした背景を踏まえ、国は、国内外の需要を見据えて戦略的養殖品目を設定し、生産から販売・輸出に至る総合戦略を立てたうえで、養殖業の振興に本格的に取り組むこととし、令和2年7月に「養殖業成長産業化総合戦略」を策定した。

地域金融機関において、養殖業を営む事業者の事業内容や成長可能性などを適切に評価（事業性評価）し、解決策を検討・提案して必要な支援・資金供給を行うことが求められている。

## [目的]

本評価により、〇〇様の養殖事業の維持・成長可能性の評価、ひいては金融機関における養殖事業の事業性評価および融資判断の一助とする。

## 2. 調査プロフィール

- 取扱対象種 : ヒラメ
  
- 評価実施日 : 2021年〇月〇日
  
- 評価に際して開示いただいた主な資料
  - 決算書（3期分）
  - 資金繰り表
  - 作業日誌
  - 仕入伝票
  - 出荷管理簿
  - 採算管理資料

### 3. 総評 (エグゼグティブサマリー)

#### 総合評価結果

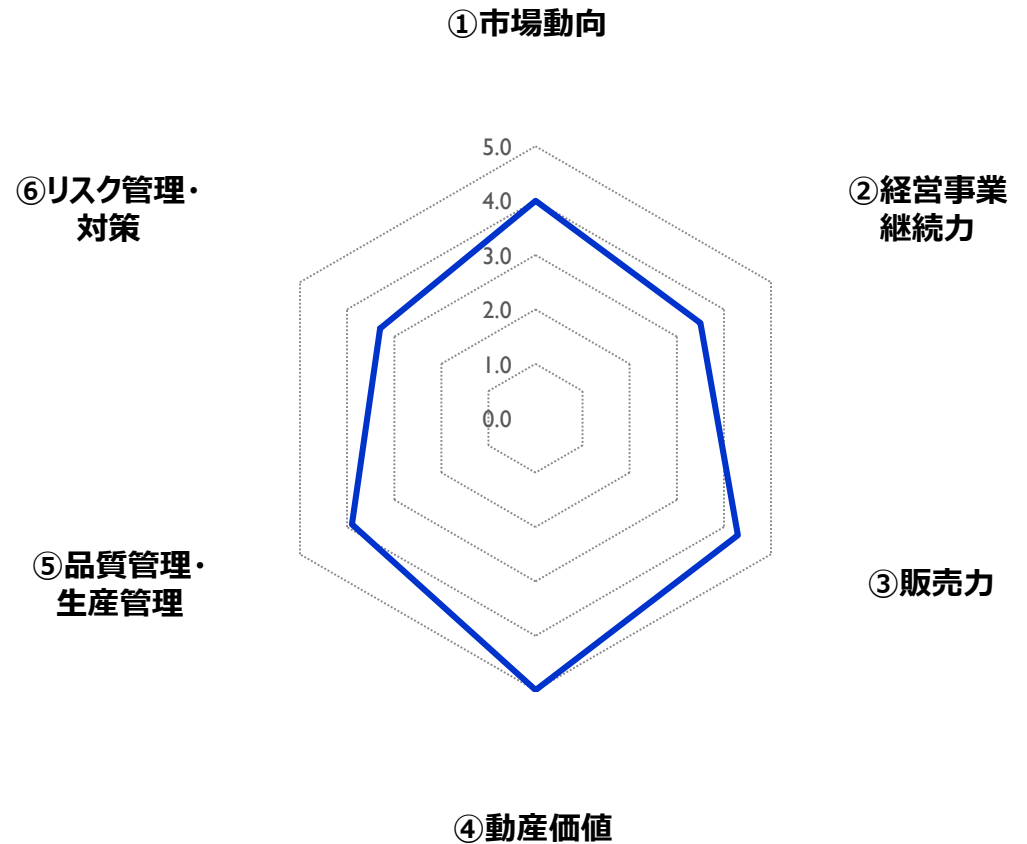
評価合計 **77点** (100点満点換算)  
(170点中131点)

評価項目平均 **3.9点/5点**

自社採苗から養殖まで一括で取り組んでおり、40年以上事業継続。  
若手社員の採用も行い、十分な養殖・加工スタッフは配置しており、  
物量・出荷能力も高い。  
品質・衛生管理、リスク管理にも十分な取り組みがみられる。

#### 評価概要 <項目平均5点満点>

- ①市場動向 <4.0点>
- ②経営事業継続力 <3.5点>
- ③販売力 <4.3点>
- ④動産評価 <5.0点>
- ⑤品質管理・生産管理 <3.9点>
- ⑥リスク管理・対策 <3.3点>



## 4. 評価結果の一覧

No	大項目	No	中項目	配点	得点	平均点
1	市場動向	1-1	過去・現在・将来の動向	5	4	4.0
		1-2	市場規模	5	4	
2	経営事業継続力	2-1	養殖事業計画・経営基盤	5	3	3.5
		2-2	漁場環境	5	5	
		2-3	養殖事業継続実績	5	4	
		2-4	採算管理の実施	5	3	
		2-5	経営者の経営能力・手腕	5	4	
		2-6	餌の調達力	5	3	
		2-7	人材育成	5	3	
		2-8	事業の将来性・可能性	5	3	
3	販売力	3-1	販路先の確保	5	5	4.3
		3-2	販路拡大への取組み	5	5	
		3-3	商品開発力・加工販売力	5	3	
4	動産価値	4-1	換金容易性	5	5	5.0
		4-2	在庫バランス	5	5	
		4-3	物量	5	5	
		4-4	将来予想価格	5	5	
5	品質管理・生産管理	5-1	稚魚調達・リスク分散	5	5	3.9
		5-2	餌の工夫	5	5	
		5-3	清掃・洗浄	5	5	
		5-4	品質管理全般	5	5	
		5-5	生産管理全般	5	4	
		5-6	衛生管理全般	5	4	
		5-7	出荷時能力	5	5	
		5-8	加工技術・物流	5	5	
		5-9	認証取得	5	0	
		5-10	知財取得	5	1	
6	リスク管理・対策	6-1	天災回避対策	5	5	3.3
		6-2	病気対策	5	5	
		6-3	環境変化	5	5	
		6-4	故障・人為的ミス対策	5	3	
		6-5	共済加入有無	5	0	
		6-6	損害保険加入有無	5	0	
		6-7	市場リスク	5	5	
				170	131	3.9

各項目において、以下のとおり評価

0・・・何もしていない、1・・・ほんの一部分を実施（十分でない）、3・・・養殖業として基本的な取組みを実施又は問題ない状況

5・・・特別に十分な取組みを実施又は良好な状況

100点換算： 77

## 5. 詳細評価結果 ①市場動向

### 評価結果

評価合計 **8点**/10点

評価項目平均 **4.0点**/5点

・市場ニーズは安定しているが、市場規模は小さく、輸入に左右される

No	大項目	No	中項目	得点	コメント
1	市場動向	1-1	過去・現在・将来の動向	4	・魚種としての市場ニーズは安定している
		1-2	市場規模	4	・現状市場規模は小さく、韓国からの輸入と競合

## 5. 詳細評価結果 ②経営事業継続力

### 評価結果

評価合計 **28点/40点**

評価項目平均 **3.5点/5点**

漁場環境や地域おこし、餌の調達に手腕を発揮している一方、人材確保や採算管理が課題

No	大項目	No	中項目	得点	コメント
2	経営事業 継続力	2-1	養殖事業計画・経営基盤	3	・中期計画を策定しているが、初期投資回収にはかなりの期間が必要
		2-2	漁場環境	5	・濾過された井戸海水を活用
		2-3	養殖事業継続実績	4	・6年の事業実績
		2-4	採算管理の実施	3	・水槽単位での採算管理ではあるが、実態は出荷時の実績管理
		2-5	経営者の経営能力・手腕	4	・本業からの養殖業進出、県や関係施設及び地域の事業者からの支援を受け地域おこしに手腕を発揮
		2-6	餌の調達力	3	・商社からの調達、主導権はないが、言いなりではない
		2-7	人材育成	3	・人材確保が課題
		2-8	事業の将来性・可能性	3	・現状の生産量での限界あり



## 5. 詳細評価結果 ③販売力

### 評価結果

評価合計 **13点**/15点

評価項目平均 **4.3点**/5点

販路の確保と合わせて、販路拡大に取り組んでおり、販売力は高い

No	大項目	No	中項目	得点	コメント
3	販売力	3-1	販路先の確保	5	・自社経営飲食店での提供のほか、県内スーパー、居酒屋、ホテル等への安定的な販路あり
		3-2	販路拡大への取り組み	5	・地域での需要掘り起こしに注力
		3-3	商品開発力/加工販売力	3	・ブランド化を志向（商標未登録）、加工はしていない

## 5. 詳細評価結果 ④動産価値

### 評価結果

評価合計 **20点/20点**

評価項目平均 **5.0点/5点**

動産としての価値（換金性）は高く、在庫バランス・物量とも十分確保されており、将来においても事業価値の維持・向上が見込まれる

No	大項目	No	中項目	得点	コメント
4	動産価値	4-1	換金容易性	5	・魚種としての換金性は高い
		4-2	在庫バランス	5	・稚魚から2年物を揃えている
		4-3	物量	5	・販路の需要に応えるだけの生産量は確保
		4-4	将来予想価格	5	・最低でも1,700円/kgは確保できる

## 5. 詳細評価結果 ⑤品質管理・生産管理

### 評価結果

評価合計 **39点/50点**

評価項目平均 **3.9点/5点**

特に、品質管理・生産管理・衛生管理全般において  
十分な取組みを実施している。  
よって、認証取得に取組むことを推奨

No	大項目	No	中項目	得点	コメント
5	品質管理・ 生産管理	5-1	稚魚調達・リスク分散	5	・県の水産センターからの安定した調達
		5-2	餌の工夫	5	・ドライEPを利用
		5-3	清掃・洗浄	5	・選別時に水槽の清掃実施
		5-4	品質管理全般	5	・品質管理基準を設定しマニュアルを制定
		5-5	生産管理全般	4	・作業日誌管理、水槽ごとの管理、ワクチン投与実施
		5-6	衛生管理全般	4	・井戸海水の水質、温度管理実施 ・外部からの病原菌の侵入防止のため、足の消毒を徹底
		5-7	出荷時能力	5	・めめ出荷
		5-8	加工技術・物流	5	・活魚及びめめ出荷、出荷範囲限定的
		5-9	認証取得	0	・認証等未取得
		5-10	知財取得	1	・ブランド化を志向（商標未登録）

## 5. 詳細評価結果 ⑥リスク管理・対策

### 評価結果

評価合計 **23点/35点**

評価項目平均 **3.3点/5点**

天災や病気への対策を講じているが、共済制度はなく、損害保険加入できないため、万一の損失に対する備えを確保できていない状況

No	大項目	No	中項目	得点	コメント
6	リスク管理・対策	6-1	天災回避対策	5	・屋内につき、台風影響少なく、非常電源設備あり
		6-2	病気対策	5	・入口防衛体制、外部からの設備への侵入に際しては、足の消毒等防護策を徹底
		6-3	環境変化	5	・屋内設備であり、問題なし
		6-4	故障・人為的ミス対策	3	・点検チェックリストの作成しているが、一人で担当
		6-5	共済加入有無	0	・共済制度なし
		6-6	損害保険加入有無	0	・損害保険料が高く、費用対効果に合わない
		6-7	市場リスク	5	・現状自社活用及び限定的な販路であり、リスク小

## 6. まとめ

- 本養殖事業発展に向けては、ブランド化等輸入との差別化策を講じる必要
- 一方、共済制度はなく、損害保険にも加入できていないため、経営体としての財務体質を強化する必要

(凡例) セグメント

- I 強みを活かして機会を勝ち取るためには？
- II 弱みを改善して機会を獲得するための施策は？
- III 強みを活かして、脅威を機会に変える施策とは？
- IV 弱みから最悪のシナリオを避けるためには？

